

指定管理者による公の施設の管理状況評価（平成29年度）

施設	名称	栃木市小野寺農産物加工販売センター
	所在地	栃木市岩舟町小野寺2071-1
	施設内容	農産物（そば）加工販売施設
指定管理者	名称	小野寺そば生産組合
	所在地	栃木市岩舟町小野寺2071-1
	主な業務内容	・そば加工販売 ・コンバイン、トラクターでのそば生産作業受託

（1）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名	計画値	実績値
	意見箱の設置	通年	通年
	意見反映数	2件	0件（意見なし）
	日程調整	2回	3回
	利用者案内掲示	1か所	1か所

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営にあたっては、施設の基本方針に基づき業務を遂行しています。</li> <li>そばの乾燥・製粉は、使用日の日程調整を行い、利用者の平等性に努めています。</li> </ul>
-----------	---

施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用者は組合員だけの施設ではありますが、日程調整等きっちりと業務をこなしています。</li> </ul>
-----------	---

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	利用者数			延べ60人	延べ115人	
	事業参加者数			20人	20人	
	稼働日数			30日	133日	
	協働イベント参加数			1回	1回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画どおりに実施しています。</li> <li>・農村レストラン「みすぎ庵」へのそば粉の安定供給に努め、いわふねフルーツパーク「花野果農産物直売所」にもそば粉を出荷しPRに努めています。</li> </ul> しかし、イノシシによるそばの被害が多く、「そばの体験農園」は再開できない状態です。					
施設所管課コメント	農産物（そば）の加工販売施設と特殊な施設です。 農村レストラン「みすぎ庵」と連携し、部会をあげて「小野寺のそば」の安定供給に努めています。また、「いわふねフルーツパークセンター（直売所）」等にも出荷し、そば粉の販売・宣伝活動に努めています。					

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	経費削減率		前年度比減		2.4%増		
	節電チラシの掲示		2か所		2か所		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅲ	0.6	9	Ⅲ	0.6	9
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営に伴う収支等の手続きは会計により適切に実施されています。</li> <li>今年度は収支ともに昨年度より上回りましたが、水道光熱費だけで見れば14%削減することができました。</li> </ul>						
施設所管課コメント	組合の会計による収支手続きはもちろん、各担当による施設の管理運営が実施されています。						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	研修会開催数			2回	3回	
	研修会参加者数			15人	13人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅲ	0.6	12	Ⅲ	0.6
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を管理する組合員＝利用者であり、誰もが役員として運営に携われるように研修会を実施しています。</li> <li>・施設の運営に支障が無いように、人員配置を行っています。</li> </ul>					
施設所管課コメント	そばの生産技術の向上と同一規格品への統制のため、組合での研修を行っています。利用者が安定して利用できるように組合内にて話し合いがされています。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	機器定期点検実施回数			12回	24回	
	事故発生件数			0件	0件	
	避難訓練実施回数			1回	1回	
	避難訓練参加者数			10人	12人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.6	12	Ⅱ	0.6
指定管理者コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用機器に関しては、日常点検を徹底して行い、事故発生0件を目標に掲げて努めています。</li> </ul>					
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び機器の点検がしっかりされています。</li> <li>・機械の使用に関し、役員1名が専属で行うことから、機械の故障の削減に努めています。</li> </ul>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	20	20
(3) 施設経費の削減の取組み	15	9	9
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	12	12
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	12	12
評価点合計	100	73	73
総合評価		B	B

第3次評価（選定委員会評価）				
評価	第2次評価点	選定委員会評価点	第3次評価点	第3次総合評価
選定委員会コメント				

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	30年1月	29年3月	28年3月
資産総額	2,263,501	3,007,968	4,635,415
売上高	4,054,884	3,585,106	3,896,009
経常利益	△ 286,481	△ 194,992	834,896
当期利益	3,033,184	3,585,106	3,896,009
経常収支比率	113.2%	130.3%	139.1%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	30年1月	29年3月	28年3月
経常費用	4,790,855	4,331,130	4,502,648
経常収益	5,423,928	5,644,100	6,261,286
経常収支比率	113.2%	130.3%	139.1%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

--